

HOYA

I. サマリー情報

平成20年3月期 第4四半期(3ヶ月間)財務・業績の概況<ご参考>

(訂正) 平成20年5月16日

上場会社名 HOYA株式会社 上場取引所 東証第一部
 コード番号 7741 URL <http://www.hoya.co.jp>
 代表者 代表執行役CEO 鈴木 洋
 問合せ先責任者 CFO 江間 賢二 TEL (03) 3952-1160

1. 平成20年3月期第4四半期の連結業績(平成20年1月1日~平成20年3月31日)

(単位:百万円未満切捨)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期(当期)純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
20年3月期第4四半期	135,816	36.5	<u>18,059</u>	<u>△ 26.7</u>	<u>19,908</u>	<u>△ 26.1</u>	<u>21,004</u>	<u>10.4</u>
19年3月期第4四半期	99,467	10.3	24,631	2.4	26,922	22.2	19,028	15.2
19年3月期	390,093	-	107,213	-	102,909	-	83,391	-

	1株当たり四半期(当期)純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益
	円	円
20年3月期第4四半期	<u>48.53</u>	<u>48.52</u>
19年3月期第4四半期	44.11	43.97
19年3月期	193.50	192.78

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円
20年3月期第4四半期	<u>689,443</u>	<u>394,625</u>	<u>56.7</u>	<u>903.49</u>
19年3月期第4四半期	447,644	367,145	81.6	845.98

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
20年3月期第4四半期	34,948	△ 7,256	△ 7,546	181,335
19年3月期第4四半期	29,759	△ 13,287	△ 5,323	120,621
19年3月期	98,793	△ 46,652	△ 23,891	120,621

2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	中間期末	第3四半期末	期末	年間
	円	円	円	円	円
19年3月期		30.00		35.00	65.00
20年3月期		30.00		35.00	65.00

3. その他

- (1) 期中における重要な子会社の異動
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有
[除外 1社(社名 ペンタックス(株))]
- (2) 会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無 : 無
- (3) 最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更の有無 : 有
(内容) 減価償却方法の変更、セグメント区分の変更

(注) 詳細は、9ページ[定性的情報・財務諸表等]「3. その他」をご覧ください。また当社は、当連結会計年度の第2四半期に株式の公開買付けによりペンタックス株式会社の発行済株式総数の過半を保有することとなりましたので、当第2四半期より連結の範囲に含めておりますが、損益関係は当第3四半期(平成19年10月1日から始まる3ヶ月間)から連結しております。詳細は、20ページ「企業結合等関係」をご覧ください。

- ※1. 当社は、四半期決算においても本決算と同程度の情報を迅速に開示し、証券アナリストをはじめとした市場参加者の方々に適切な業績予想を行っていただけるように配慮しておりますが、参考として、中間期の連結業績予想を第1四半期(4月1日より6月30日まで)の決算発表時(7月)に公表する予定であり、また、通期の連結業績予想を、第3四半期(10月1日より12月31日まで)の決算発表時(翌年1月)に公表する予定であります。
- ※2. 本資料は、当社の評価を行うための参考となる情報提供のみを目的としたものです。投資等の最終決定は、ご自身の判断でなさるようお願いいたします。投資の結果等に対する責任は負いかねますのでご了承下さい。

II. 定性的情報・財務諸表等

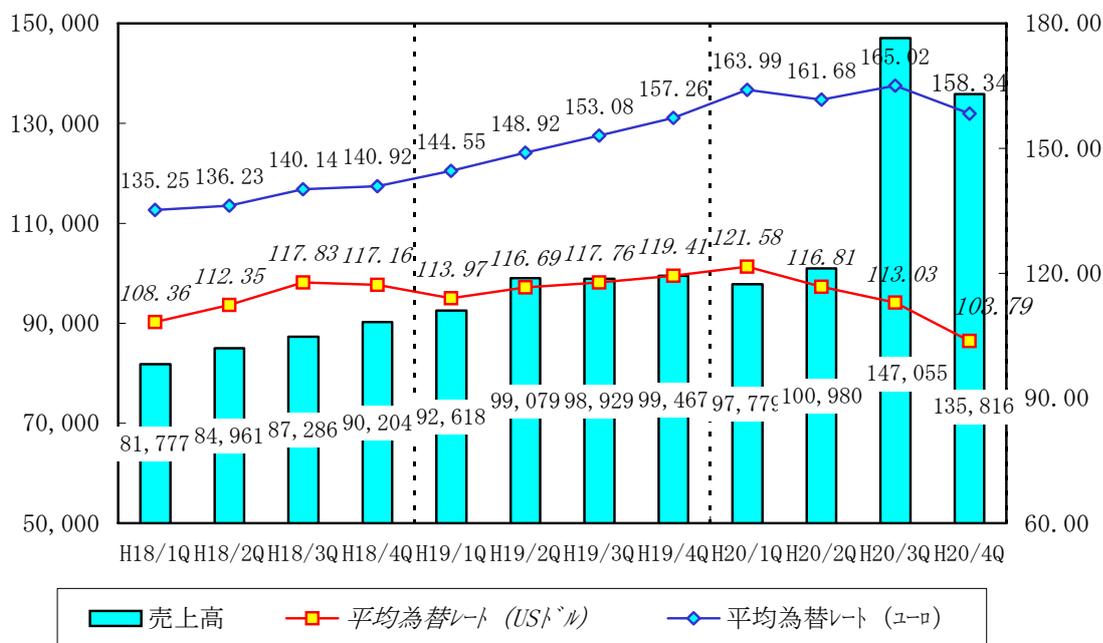
1. 当第4四半期の経営成績

①全般の状況

		前年同期比増減率または金額
・売上高	: 135,816 百万円	(36.5 %)
・営業利益	: <u>18,059</u> 百万円	(<u>△ 26.7</u> %)
・経常利益	: <u>19,908</u> 百万円	(<u>△ 26.1</u> %)
・四半期純利益	: <u>21,004</u> 百万円	(<u>10.4</u> %)
・1株当たり四半期純利益	: <u>48.53</u> 円	(<u>4.42</u> 円)

- 当第4四半期のわが国経済は、原油等の原材料価格の上昇や、米国におけるサブプライムローン問題の影響、急激な円高や株価の低迷といった金融・資本市場の不安定な動きが、企業心理に影響を落とし、中小企業のみならず大企業においても景況感の悪化が見られるようになり、景気の先行き不透明感が増してまいりました。
- そうしたなか当社グループでは、エレクトロオプティクス(EO)部門では、主要製品の一部で価格低下や新技術への移行の影響等から前年同期に比べて売上が減少しましたので、その他の製品は高精度品を中心に堅調に推移したものの、部門全体では減収減益となりました。ビジョンケア部門では、メガネレンズは海外市場が減速し、国内とあわせて前年同期に比べて減収となりましたが、ヘルスケア部門は好調に推移し増収となりました。また、新たに連結子会社となりましたペンタックス㈱およびその子会社の業績は、当連結会計年度の第3四半期から加わっております(ペンタックス㈱は平成20年3月31日付でHOYA株式会社と合併し解散しました)。
- その結果、当第4四半期は、ペンタックスとの統合効果によりグループ全体では前年同期に比べて大きく増収となりましたが、営業利益は、EO部門の減収と利益率の低下に伴う利益額の減少を主要因として、前年同期に比べて減益となりました。ペンタックスの買収に伴うのれんの償却は当第3四半期から発生しております。経常利益は持分法適用会社の収益向上がありました。為替の影響を受け減益となりました。四半期純利益は、ペンタックスとの合併に伴い大幅な繰越欠損金が出て税金費用が減少したため、前年同期に比べて増益となりました。

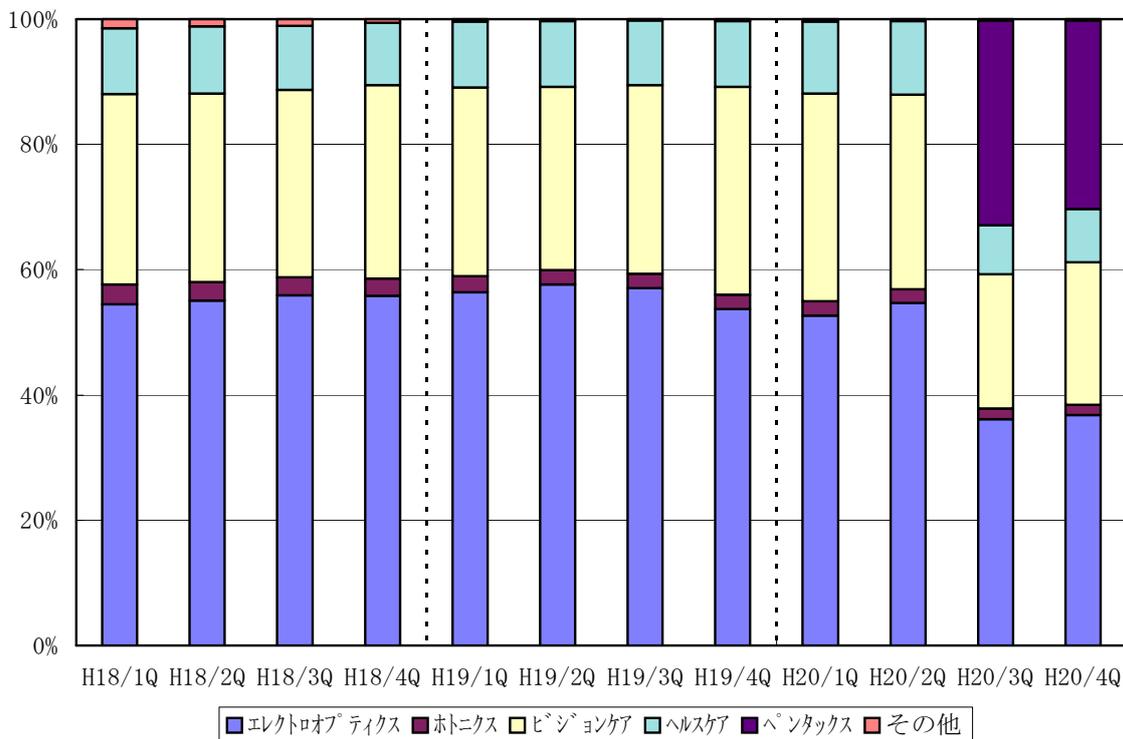
売上高(単位:百万円)と平均為替レート(円/USドル・ユーロ)の四半期別推移



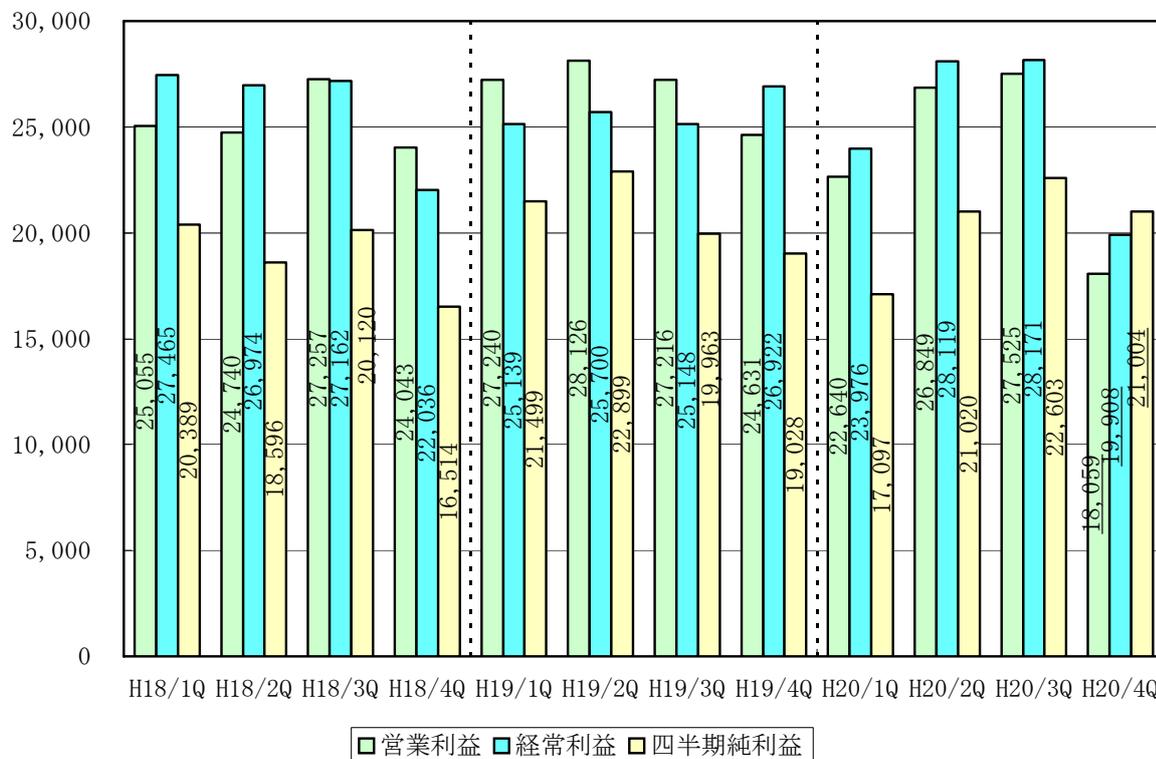
(注) 四半期推移のグラフの横軸の項目の表記は、決算期と四半期別を表しております。

例: 「H20/4Q」は、平成20年3月期の第4四半期(当第4四半期:平成20年1月1日~同3月31日)を、同様に「H19/4Q」は、平成19年3月期の第4四半期(前第4四半期:平成19年1月1日~同3月31日)を意味します。

部門別売上高構成比の四半期別推移



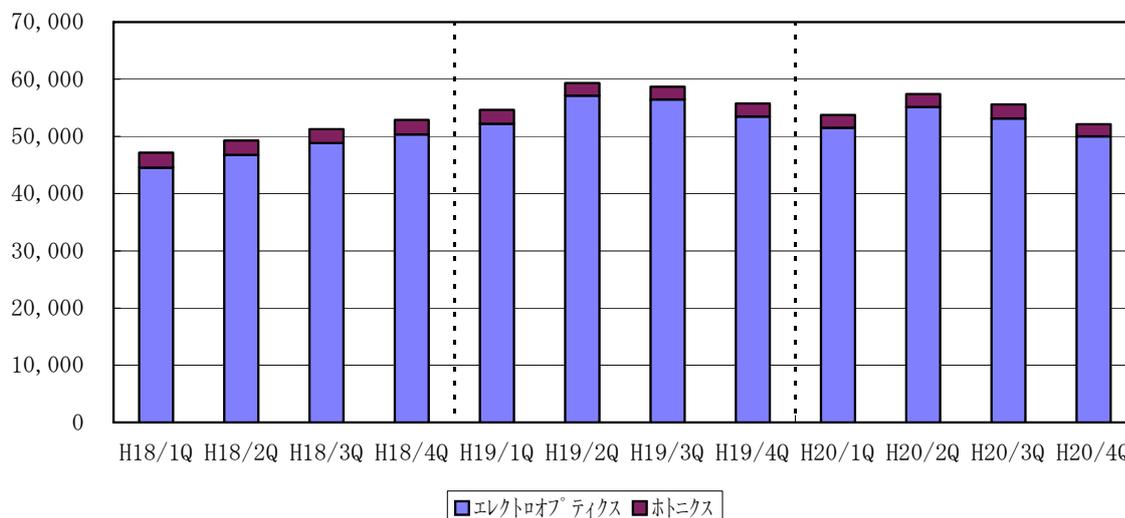
利益状況の四半期別推移 (単位: 百万円)



②部門別の状況

	売上高	前年同期比増減率
(1) 情報・通信	52,145 百万円	(△ 6.3 %)
○エレクトロオプティクス	49,995 百万円	(△ 6.4 %)
○ホトニクス	2,149 百万円	(△ 3.2 %)

情報・通信の売上高の四半期別推移 (単位: 百万円)



エレクトロオプティクス

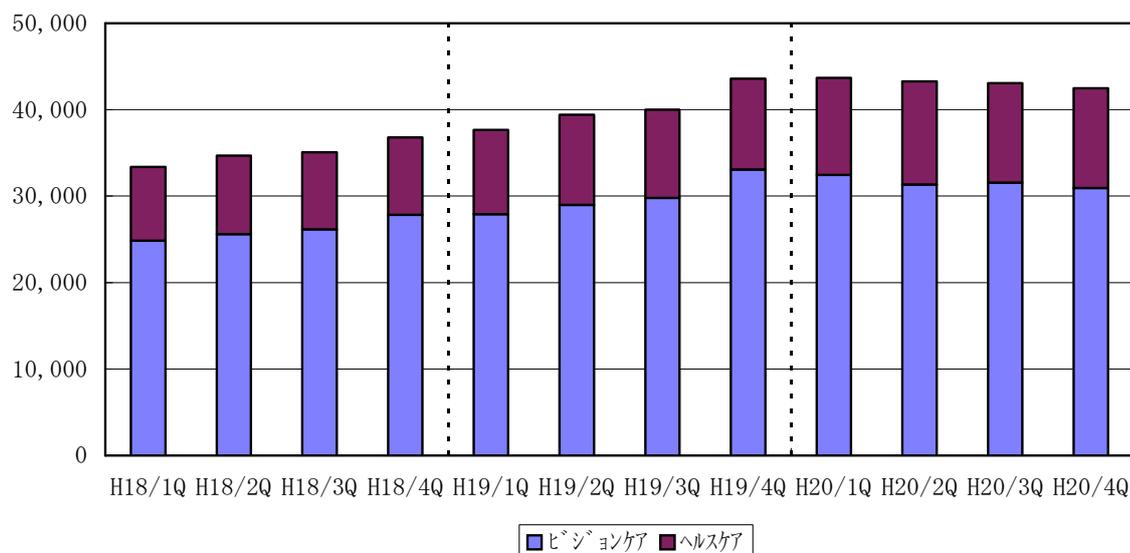
- ・ 半導体製造用のマスクブランクスは、位相シフトマスク用ブランクス等、高精度品の受注が増加しましたが、為替の影響と季節的要因により、前年同期に比べて減収となりました。
- ・ 半導体製造用のフォトマスクは、市場全体に新製品開発用マスクの低迷と季節要因により厳しい環境にあり、また、前年同期は、デジタル家電向けの開発用マスクの需要が一気に拡大した時期であり、当第4四半期は、前年同期に比べて減収となりました。液晶用大型マスクは、液晶パネルメーカー各社で旺盛なパネル需要に対応するために量産が優先されマスク需要が伸び悩み、一方でマスクメーカー間の競争は厳しい状況のまま価格低下が続き、前年同期に比べて減収となりました。
- ・ HDD (ハードディスク装置)用ガラスディスクは、需要の季節変動の影響と、垂直記録方式への移行によるガラスメディア生産量の減少等を主要因として、売上高は前年同期に比べて微減となりました。
- ・ 光学レンズは、デジタルカメラ・VTRの市場が世界的に拡大を続けてまいりましたが、当第4四半期に入り急速な調整があり、カメラ付き携帯電話向けレンズの受注減少とあわせて前年同期に比べて減収となりました。

ホトニクス

- ・ レーザーを利用した産業用機器、医療用機器が主力製品で、産業用では半導体、液晶パネルおよび光学機器等のメーカーを顧客としております。前年同期に比べて減収となりました。

	売上高	前年同期比増減率 (△ 2.5%)
(2) アイケア	42,497 百万円	
○ビジョンケア	30,952 百万円	(△ 6.5%)
○ヘルスケア	11,544 百万円	(10.0%)

アイケアの売上高の四半期別推移 (単位: 百万円)



ビジョンケア

- メガネレンズの国内市場は依然として低迷が続いており、当社では、これまで成長を続けてきました高機能のコーティングや新設計の累進レンズを中心とした高価格帯も厳しい状況となり、低価格帯での価格競争と合わせて国内全体の売上は前年同期に比べて減収となりました。
- メガネレンズの海外市場でも低価格帯レンズの価格攻勢は激しいものがあります。当社では、すべての地域で新設計の累進レンズや高屈折レンズ等の高付加価値製品の販売の拡大を進め、アジア・大洋州地域は堅調に推移し増収となりましたが、欧米では厳しい状況となり、その結果海外売上も前年同期に比べて減収となりました。

ヘルスケア

- コンタクトレンズは、直営店舗における専門知識を活かしたコンサルティング販売により競合との差別化を図り、あわせて遠近両用レンズ等の高付加価値商品の販売拡大により、前年同期に比べて増収となりました。
- 眼内レンズ (IOL) は、軟性 (ソフト) IOL が好調で、新製品の販売も順調に推移し、前年同期に比べて増収となりました。

(3) ペンタックス
(ペンタックス関係事業にかかる実績)

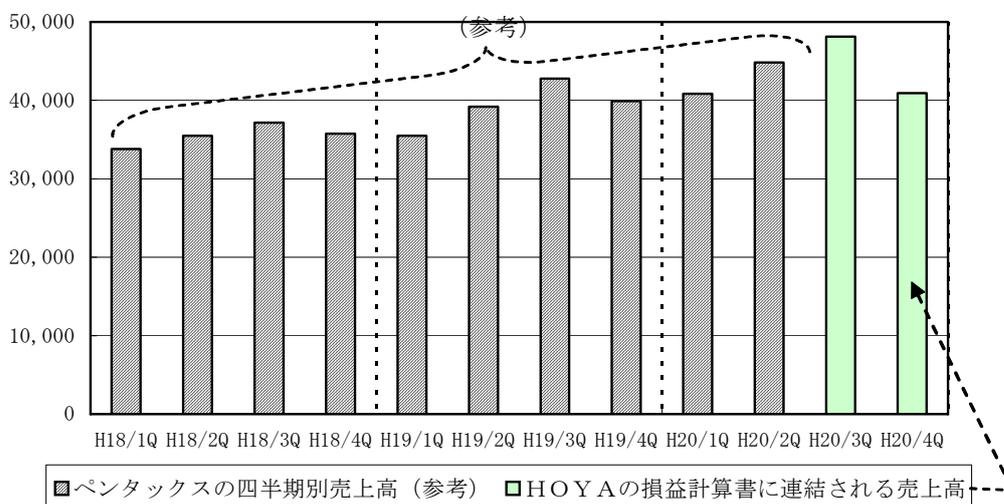
売上高	:	40,923 百万円	前年同期比増減率 (- %)
			(参考※注2.) (2.5 %)

(注)

1. 当社は、当連結会計年度の中間連結会計期間に株式の公開買付けによりペンタックス株式会社の発行済株式総数の過半を保有することとなりましたので、当中間連結会計期間より連結の範囲に含めております。損益計算書は当第3四半期(平成19年10月1日から同年12月31日までの3ヶ月間)から連結されております。なお、当社とペンタックス株式会社は平成20年3月31日をもって合併しております。
2. ここでは、過去の業績との比較のために、参考として子会社化および連結以前のペンタックス株式会社の、各期の四半期別の売上高をグラフ化し、また、下記の当第4四半期の定性的情報におきましては、参考としてペンタックス株式会社の前年同期(平成19年1月1日から同年3月31日までの3ヶ月間)の業績との比較で記載しております。

<ご参考>

ペンタックスの売上高の四半期別推移(単位:百万円)



- ・ ライフケア事業においては、医療用内視鏡では、北米に続いて当期の第3四半期から欧州市場に対してもメガピクセル画像対応の新しい内視鏡システム「i」シリーズの販売を開始し、好調に推移しました。北米でも新製品の効果が徐々に出ており、その結果、当事業においては、前年同期に比べて増収となりました。
- ・ イメージングシステム事業においては、デジタル一眼レフカメラでは、K20D、K200Dの2機種に加え、交換レンズの新製品を多数市場投入するなど積極的に製品展開を進めましたので、交換レンズの売上が大幅に伸びました。一方、コンパクトデジタルカメラにおいては、販売量の減少や旧製品の在庫処分の影響で、売上は減少しました。結果として、当事業においては、前年同期に比べて減収となりました。
- ・ オプティカルコンポーネント事業においては、デジタルカメラモジュールでは、付加価値の高いタイプの新製品を立ち上げ、普及タイプの製品と合わせて売上が堅調に伸びました。微小レンズでは、販売単価の低下とHD DVDの撤退等の影響により売上は減少しました。その結果、当事業においては、前年同期に比べて増収となりました。

			前年同期比増減率
(3)その他	売上高	:	250 百万円 (1.6 %)

- ・その他の事業とは、クリスタル事業およびサービス事業（グループ内のシステム構築、業務請負等）であります。

2. 当第 4 四半期の財政状態

① 資産、負債及び純資産の状況		当第3四半期末比増減率
・総資産	:	<u>689,443</u> 百万円 (<u>△ 1.1</u> %)
・純資産	:	<u>394,625</u> 百万円 (<u>△ 5.8</u> %)
・自己資本比率	:	<u>56.7</u> %

- ・当第4四半期末は、当第3四半期末に比べて、流動資産が9,636百万円減少し、固定資産は1,730百万円増加しましたので、総資産は7,905百万円減少しました。負債合計は16,250百万円増加しました。純資産は24,155百万円減少しました。

② キャッシュ・フローの状況		
・営業活動によるキャッシュ・フロー	:	34,948 百万円
・投資活動によるキャッシュ・フロー	:	△ 7,256 百万円
・財務活動によるキャッシュ・フロー	:	△ 7,546 百万円
・現金及び現金同等物期末残高	:	181,335 百万円

- ・当第4四半期は、税金等調整前四半期純利益18,882百万円と減価償却費11,255百万円を主体とした現金の増加、および法人税等の支払額3,267百万円を主体とした現金の減少により、営業キャッシュ・フローは34,948百万円となりました。投資活動によるキャッシュ・フローは、次期製品対応投資を中心に7,256百万円の支出となりました。フリー・キャッシュ・フローは27,692百万円となりました。現金及び現金同等物の期末残高は181,335百万円となり、当第3四半期末に比べて2,151百万円増加しました。

3. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

- ・ 連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動 : 1社減少
除外1社 会社名:ペンタックス株

<参考>

- ・ 連結子会社数 100社
主要会社名 (海外) HOYA HOLDINGS, INC.、HOYA HOLDINGS N.V.、
HOYA HOLDINGS ASIA PACIFIC PTE LTD、HOYA PHOTONICS, INC.
(国内) HOYA CANDEO OPTRONICS株式会社、HOYAヘルスケア株式会社
- ・ 関連会社数 11社(うち、持分法適用会社数 8社 主要会社名: NHテクノグラス株式会社)
- ・ 連結範囲及び持分法の適用の異動状況

① 連結範囲 :

a. 前年同期末(前第4四半期末=平成19年3月末)との比較=33社増加

- ・ 新規設立により5社増加
 - ・ HOYA HOLDINGS (ASIA) B.V. (オランダ)
 - ・ HOEV CO., LTD. (ベトナム)
 - ・ HOYA LENS NORWAY S.A. (ノルウェー)
 - ・ HOYA SURGICAL OPTICS, INC. (米国)
 - ・ PENTAX MEDICAL SINGAPORE PTE. LTD. (シンガポール)
- ・ 買収により36社増加
 - ・ ペンタックス株式会社
 - ・ 同社連結子会社(国内)7社、(海外)26社
 - ・ MORGAN OPTICAL, INC. (米国)
 - ・ FOCUS PREFERENCE SDN BHD (マレーシア)
- ・ 子会社どうしの合併により5社減少
- ・ 親会社への合併により1社減少
- ・ 清算により2社減少
- ・ ペンタックスオプトテック株他、ペンタックス国内連結子会社合計5社がペンタックス株に吸収合併(平成20年3月30日付)
- ・ ペンタックス株がHOYA株に吸収合併(平成20年3月31日付)

b. 直前四半期末(当第3四半期末=平成19年12月末)との比較=4社減少

- ・ 新規設立により3社増加
 - ・ FOCUS PREFERENCE SDN BHD (マレーシア)
 - ・ HOYA SURGICAL OPTICS (米国)
 - ・ PENTAX MEDICAL SINGAPORE PTE. LTD. (シンガポール)
- ・ 子会社どうしの合併により5社減少
- ・ 親会社への合併により1社減少
- ・ 清算により1社減少
- ・ ペンタックスオプトテック株他、ペンタックス国内連結子会社合計5社がペンタックス株に吸収合併(平成20年3月30日付)
- ・ ペンタックス株がHOYA株に吸収合併(平成20年3月31日付)

② 持分法適用会社 :

a. 前年同期末(前第4四半期末=平成19年3月末)との比較=7社増加

- ・ 3社増加
 - ・ NHテクノグラス株の海外子会社3社
※従来1社としていたNHテクノグラス株につき同社の海外子会社3社も個別にカウントするようにしたため。
- ・ 買収により4社増加
 - ・ プライムオプティクス株等、旧ペンタックスグループの4社(国内1社、海外3社)

b. 直前四半期末(当第3四半期末=平成19年12月末)との比較

- ・ 1社減少

(注) 当社は、当連結会計年度の間連結会計期間に株式の公開買付けによりペンタックス株式会社の発行済株式総数の過半を保有することとなりましたので、当中間連結会計期間より連結の範囲に含めております。損益計算書は当第3四半期より連結しております。さらに平成20年3月31日付で、当社はペンタックス株式会社を吸収合併しました。

	当第4四半期 平成20年 3月31日現在	前第4四半期 平成19年 3月31日現在	増 減	当第3四半期 平成19年 12月31日現在
連結子会社数	100 (国内7、海外93)	67 (国内5、海外62)	33 (国内2、海外31)	104 (国内13、海外91)
関連会社数	11 (国内5、海外6)	4 (国内4、海外-)	7 (国内1、海外6)	12 (国内6、海外6)
(うち持分法適用会社数)	(8) (国内2、海外6)	(1) (国内1、海外-)	(7) (国内1、海外6)	(9) (国内3、海外6)
グループ合計 (うち持分法適用会社数)	111社 (8社)	71社 (1社)	40社 (7社)	116社 (9社)

(2) 会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無 : 無

(3) 最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更

- ・ ペンタックス株式会社およびその子会社を連結の範囲に含めることに伴い、事業の種類別セグメント情報における事業区分を変更しております。
- ・ 法人税法の改正に伴い、平成19年4月1日以降に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

4. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円未満切捨)

科 目	当第4四半期 平成20年3月31日現在		当第3四半期 平成19年12月31日現在		増 減		前第4四半期 平成19年3月31日現在	
	金 額	構成比 (%)	金 額	構成比 (%)	金 額	増減率 (%)	金 額	構成比 (%)
(資産の部)								
I. 流動資産								
1. 現金及び預金	181,467		180,753		714		120,621	
2. 受取手形及び売掛金	120,521		130,316		△ 9,795		94,296	
3. たな卸資産	82,822		90,514		△ 7,692		49,721	
4. 繰延税金資産	<u>10,867</u>		9,556		<u>1,311</u>		7,067	
5. その他	<u>16,982</u>		11,061		<u>5,921</u>		5,309	
6. 貸倒引当金	<u>△ 2,388</u>		△ 2,294		<u>△ 94</u>		△ 1,311	
流動資産合計	<u>410,272</u>	<u>59.5</u>	419,908	60.2	<u>△ 9,636</u>	<u>△ 2.3</u>	275,706	61.6
II. 固定資産								
1. 有形固定資産								
(1) 建物及び構築物	40,636		41,842		△ 1,206		33,871	
(2) 機械装置及び運搬具	67,264		73,782		△ 6,518		75,961	
(3) 工具器具備品	17,202		19,532		△ 2,330		12,311	
(4) 土地	16,887		16,906		△ 19		9,154	
(5) 建設仮勘定	10,211		20,390		△ 10,179		11,918	
有形固定資産合計	152,202	22.1	172,454	24.7	△ 20,252	△ 11.7	143,218	32.0
2. 無形固定資産								
(1) のれん	<u>32,680</u>		53,399		<u>△ 20,719</u>		—	
(2) その他	<u>23,624</u>		19,361		<u>4,263</u>		6,248	
無形固定資産合計	<u>56,304</u>	<u>8.2</u>	72,761	10.4	<u>△ 16,457</u>	<u>△ 22.6</u>	6,248	1.4
3. 投資その他の資産								
(1) 投資有価証券	22,202		21,944		258		14,575	
(2) 繰延税金資産	<u>41,159</u>		2,524		<u>38,635</u>		2,723	
(3) その他	7,626		8,098		△ 472		5,493	
(4) 貸倒引当金	△ 325		△ 342		17		△ 322	
投資その他の資産合計	<u>70,663</u>	<u>10.2</u>	32,225	4.7	<u>38,438</u>	<u>119.3</u>	22,470	5.0
固定資産合計	<u>279,170</u>	<u>40.5</u>	277,440	39.8	<u>1,730</u>	<u>0.6</u>	171,937	38.4
資産合計	<u>689,443</u>	100.0	697,348	100.0	<u>△ 7,905</u>	<u>△ 1.1</u>	447,644	100.0

(単位：百万円未満切捨)

科 目	当第4四半期 平成20年3月31日現在		当第3四半期 平成19年12月31日現在		増 減		前第4四半期 平成19年3月31日現在	
	金 額	構成比 (%)	金 額	構成比 (%)	金 額	増減率 (%)	金 額	構成比 (%)
(負債の部)								
I. 流動負債								
1. 支払手形及び買掛金	55,539		61,720		△ 6,181		28,779	
2. 短期借入金	6,465		13,646		△ 7,181		—	
3. 1年内返済予定の長期借入金	8,749		3,634		5,115		—	
4. コマーシャル・ペーパー	6,191		4,997		1,194		—	
5. 未払法人税等	30,793		6,268		24,525		12,821	
6. 未払費用	22,514		24,837		△ 2,323		—	
7. 賞与引当金	7,452		4,043		3,409		4,327	
8. その他	<u>31,149</u>		22,245		<u>8,904</u>		32,252	
流動負債合計	<u>168,855</u>	<u>24.5</u>	141,392	20.2	<u>27,463</u>	<u>19.4</u>	78,181	17.5
II. 固定負債								
1. 社債	99,966		99,965		1		—	
2. 長期借入金	13,268		20,096		△ 6,828		—	
3. 繰延税金負債	<u>185</u>		2,656		<u>△ 2,471</u>		—	
4. 退職給付引当金	<u>10,210</u>		10,874		<u>△ 664</u>		—	
5. 役員退職慰労引当金	—		323		△ 323		—	
6. 特別修繕引当金	1,017		1,199		△ 182		890	
7. その他	<u>1,314</u>		2,059		<u>△ 745</u>		1,427	
固定負債合計	<u>125,962</u>	<u>18.3</u>	137,175	19.7	<u>△ 11,213</u>	<u>△ 8.2</u>	2,317	0.5
負債合計	<u>294,818</u>	<u>42.8</u>	278,568	39.9	<u>16,250</u>	<u>5.8</u>	80,499	18.0
(純資産の部)								
I. 株主資本								
1. 資本金	6,264		6,264		—		6,264	
2. 資本剰余金	15,898		15,898		—		15,898	
3. 利益剰余金	<u>373,887</u>		352,897		<u>20,990</u>		322,513	
4. 自己株式	△ 7,984		△ 8,028		44		△ 12,753	
5. 自己株式申込証拠金	—		—		—		1	
株主資本合計	<u>388,066</u>	<u>56.3</u>	367,031	52.6	<u>21,034</u>	<u>5.7</u>	331,924	74.2
II. 評価・換算差額等								
1. その他有価証券評価差額金	<u>△ 834</u>		△ 230		<u>△ 603</u>		△ 85	
2. 為替換算調整勘定	<u>3,851</u>		43,227		<u>△ 39,375</u>		33,263	
評価・換算差額等合計	<u>3,016</u>	<u>0.4</u>	42,996	6.2	<u>△ 39,979</u>	<u>△ 93.0</u>	33,177	7.4
III. 新株予約権	632	0.1	553	0.1	79	14.3	167	0.0
IV. 少数株主持分	2,909	0.4	8,198	1.2	△ 5,289	△ 64.5	1,876	0.4
純資産合計	<u>394,625</u>	<u>57.2</u>	418,780	60.1	<u>△ 24,155</u>	<u>△ 5.8</u>	367,145	82.0
負債及び純資産合計	<u>689,443</u>	100.0	697,348	100.0	<u>△ 7,905</u>	<u>△ 1.1</u>	447,644	100.0

(注)	当第4四半期	当第3四半期	前第4四半期
1. 有形固定資産の減価償却累計額	238,399 百万円	247,209 百万円	223,095 百万円
2. 保証債務	2,072 百万円	2,240 百万円	2,774 百万円
3. 受取手形割引高	<u>1,551</u> 百万円	1,927 百万円	—
4. 自己株式数	2,158,291 株	2,170,207 株	3,447,681 株

(2) 四半期連結損益計算書

(単位:百万円)

科 目	当第4四半期 自平成20年1月1日 至平成20年3月31日		前第4四半期 自平成19年1月1日 至平成19年3月31日		増 減		当第3四半期 自平成19年10月1日 至平成19年12月31日	
	金 額	百分比 (%)	金 額	百分比 (%)	増減額	増減率 (%)	金 額	百分比 (%)
I. 売 上 高	135,816	100.0	99,467	100.0	36,349	36.5	147,055	100.0
II. 売 上 原 価	77,854	57.3	51,038	51.3	26,816	52.5	80,585	54.8
III. 売上総利益	57,962	42.7	48,428	48.7	9,534	19.7	66,469	45.2
III. 販売費及び一般管理費	<u>39,903</u>	<u>29.4</u>	23,798	23.9	<u>16,105</u>	<u>67.7</u>	38,944	26.5
営業利益	<u>18,059</u>	13.3	24,631	24.8	<u>△ 6,572</u>	<u>△ 26.7</u>	27,525	18.7
IV. 営業外収益	<u>6,907</u>	<u>5.1</u>	2,939	3.0	<u>3,968</u>	<u>135.0</u>	4,028	2.8
1. 受取利息	1,228		1,114		114		1,014	
2. 持分法による投資利益	1,748		586		1,162		2,183	
3. 為替差益	—		734		△ 734		—	
4. その他	<u>3,930</u>		503		<u>3,427</u>		830	
V. 営業外費用	<u>5,058</u>	<u>3.7</u>	648	0.7	<u>4,410</u>	<u>680.6</u>	3,381	2.3
1. 支払利息	635		44		591		650	
2. 売上割引	263		238		25		220	
3. 為替差損	<u>2,429</u>		—		<u>2,429</u>		1,895	
4. その他	<u>1,729</u>		365		<u>1,364</u>		616	
経常利益	<u>19,908</u>	<u>14.7</u>	26,922	27.1	<u>△ 7,014</u>	<u>△ 26.1</u>	28,171	19.2
VI. 特別利益	239	<u>0.1</u>	65	0.1	174	267.7	45	0.0
1. 固定資産売却益	65		5		60		12	
2. その他	174		60		114		33	
VII. 特別損失	<u>1,266</u>	0.9	2,115	2.2	<u>△ 849</u>	<u>△ 40.1</u>	1,813	1.2
1. 固定資産売却損	667		491		176		182	
2. 減損損失	247		1		246		49	
3. 退職加算金	78		837		△ 759		257	
4. 環境整備費	47		17		30		1,308	
5. その他	<u>224</u>		769		<u>△ 545</u>		17	
税金等調整前四半期純利益	<u>18,882</u>	<u>13.9</u>	24,872	25.0	<u>△ 5,990</u>	<u>△ 24.1</u>	26,402	18.0
法人税、住民税及び事業税	<u>21,305</u>	<u>15.7</u>	7,963	8.0	<u>13,342</u>	<u>167.5</u>	3,235	2.2
法人税等調整額	<u>△ 21,339</u>	<u>△ 15.7</u>	△ 2,188	△ 2.2	<u>△ 19,151</u>	<u>875.3</u>	99	0.1
少数株主損益	<u>△ 2,088</u>	<u>△ 1.6</u>	67	0.1	<u>△ 2,155</u>	—	464	0.3
四半期純利益	<u>21,004</u>	<u>15.5</u>	19,028	19.1	<u>1,976</u>	<u>10.4</u>	22,603	15.4
1株当たり四半期純利益	<u>48.53</u> 円		44.11 円		<u>4.42</u> 円		52.22 円	
潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益	<u>48.52</u> 円		43.97 円		<u>4.55</u> 円		52.18 円	

(注)

在外連結子会社の売上高の換算に関する事項

(1) 当第4四半期の売上高・損益を、前年同期の為替レートで換算した場合の金額とその差額

科 目	当第4四半期レートで換算	前年同期のレートで換算	差 額
売 上 高	135,816 百万円	138,283 百万円	△ 2,467 百万円
営 業 利 益	<u>18,059</u> 百万円	<u>18,528</u> 百万円	△ 469 百万円
経 常 利 益	<u>19,908</u> 百万円	<u>20,377</u> 百万円	△ 469 百万円
四 半 期 純 利 益	<u>21,004</u> 百万円	<u>21,396</u> 百万円	△ 392 百万円

(2) 主要通貨の換算レートと前年同期比変動率

主要通貨	当第4四半期為替レート	前年同期為替レート	変 動 率	当第3四半期為替レート
USドル US\$	103.79 円	119.41 円	13.1% (円高)	113.03 円
ユーロ EURO	158.34 円	157.26 円	-0.7% (円安)	165.02 円
タイ・バツ BAHТ	3.38 円	3.58 円	5.6% (円高)	3.69 円

円換算基準: 毎月末の東京外国為替市場の相場仲値単純平均

(変動率が-の場合は円安)

(3) 四半期連結株主資本等変動計算書

当第4四半期(自 平成20年1月1日 至 平成20年3月31日)

(単位:百万円未満切捨)

	株主資本					株主資本 合計
	資本金	資本 剰余金	利益 剰余金	自己 株式	自己株式 申込証拠金	
平成19年12月31日 残高	6,264	15,898	352,897	△ 8,028	—	367,031
四半期中の変動額						
剰余金の配当						
四半期純利益			<u>21,004</u>			<u>21,004</u>
自己株式の取得				△ 0		△ 0
自己株式の処分			△ 13	45		31
株主資本以外の項目の 四半期中の変動額(純額)						
四半期中の変動額合計	—	—	<u>20,990</u>	44	—	<u>21,034</u>
平成20年3月31日 残高	6,264	15,898	<u>373,887</u>	△ 7,984	—	<u>388,066</u>

	評価・換算差額等			新株 予約権	少数株主 持分	純資産 合計
	その他有価 証券評価 差額金	為替換算 調整勘定	評価・換算 差額等合計			
平成19年12月31日 残高	△ 230	43,227	42,996	553	8,198	418,780
四半期中の変動額						
剰余金の配当						
四半期純利益						<u>21,004</u>
自己株式の取得						△ 0
自己株式の処分						31
株主資本以外の項目の 四半期中の変動額(純額)	<u>△ 603</u>	<u>△ 39,375</u>	<u>△ 39,979</u>	79	△ 5,289	<u>△ 45,190</u>
四半期中の変動額合計	<u>△ 603</u>	<u>△ 39,375</u>	<u>△ 39,979</u>	79	△ 5,289	<u>△ 24,155</u>
平成20年3月31日 残高	<u>△ 834</u>	<u>3,851</u>	<u>3,016</u>	632	2,909	<u>394,625</u>

(注)

1. 発行済株式数に関する事項

株式の種類	平成19年 12月31日残高	当四半期中 の増加	当四半期中 の減少	平成20年 3月31日残高
普通株式	435,017,020	—	—	435,017,020

単位:株

2. 自己株式数に関する事項

株式の種類	平成19年 12月31日残高	当四半期中 の増加	当四半期中 の減少	平成20年 3月31日残高
普通株式	2,170,207	276	12,192	2,158,291

単位:株

増加・減少の内訳(理由)は次のとおりであります。

単元未満株式の買取による増加	276株
単元未満株式の買増請求による減少	192株
ストックオプション行使による減少	12,000株

前第4四半期(自平成19年1月1日至平成19年3月31日)

(単位:百万円未満切捨)

	株主資本					株主資本 合計
	資本金	資本 剰余金	利益 剰余金	自己 株式	自己株式 申込証拠金	
平成18年12月31日 残高	6,264	15,898	304,051	△ 13,998	45	312,261
四半期中の変動額						
剰余金の配当						
四半期純利益			19,028			19,028
自己株式の取得				△ 3		△ 3
自己株式の処分			△ 565	1,247		681
その他					△ 43	△ 43
株主資本以外の項目の 四半期中の変動額(純額)						
四半期中の変動額合計	—	—	18,462	1,244	△ 43	19,663
平成19年3月31日 残高	6,264	15,898	322,513	△ 12,753	1	331,924

	評価・換算差額等			新株 予約権	少数株主 持分	純資産 合計
	その他有価 証券評価 差額金	為替換算 調整勘定	評価・換算 差額等合計			
平成18年12月31日 残高	△ 36	29,162	29,126	66	1,836	343,290
四半期中の変動額						
剰余金の配当						
四半期純利益						19,028
自己株式の取得						△ 3
自己株式の処分						681
その他						△ 43
株主資本以外の項目の 四半期中の変動額(純額)	△ 49	4,100	4,051	167	39	4,258
四半期中の変動額合計	△ 49	4,100	4,051	100	39	23,854
平成19年3月31日 残高	△ 85	33,263	33,177	167	1,876	367,145

(注)

1. 発行済株式数に関する事項

株式の種類	平成18年 12月31日残高	四半期中 の増加	四半期中 の減少	平成19年 3月31日残高
普通株式	435,017,020	—	—	435,017,020

単位:株

2. 自己株式数に関する事項

株式の種類	平成18年 12月31日残高	四半期中 の増加	四半期中 の減少	平成19年 3月31日残高
普通株式	3,784,297	724	337,340	3,447,681

単位:株

増加・減少の内訳(理由)は次のとおりであります。

単元未満株式の買取による増加	724株
単元未満株式の買増請求による減少	140株
ストックオプション行使による減少	337,200株

当第3四半期(自平成19年10月1日至平成19年12月31日)

(単位:百万円未満切捨)

	株主資本					株主資本 合計
	資本金	資本 剰余金	利益 剰余金	自己 株式	自己株式 申込証拠金	
平成19年9月30日 残高	6,264	15,898	343,323	△ 8,170	—	357,316
四半期中の変動額						
剰余金の配当			△ 12,984			△ 12,984
四半期純利益			22,603			22,603
自己株式の取得				△ 3		△ 3
自己株式の処分			△ 45	145		100
株主資本以外の項目の 四半期中の変動額(純額)						
四半期中の変動額合計	—	—	9,573	141	—	9,715
平成19年12月31日 残高	6,264	15,898	352,897	△ 8,028	—	367,031

	評価・換算差額等			新株 予約権	少数株主 持分	純資産 合計
	その他有価 証券評価 差額金	為替換算 調整勘定	評価・換算 差額等合計			
平成19年9月30日 残高	△ 157	36,069	35,911	476	8,203	401,907
四半期中の変動額						
剰余金の配当						△ 12,984
四半期純利益						22,603
自己株式の取得						△ 3
自己株式の処分						100
株主資本以外の項目の 四半期中の変動額(純額)	△ 73	7,158	7,085	76	△ 4	7,156
四半期中の変動額合計	△ 73	7,158	7,085	76	△ 4	16,872
平成19年12月31日 残高	△ 230	43,227	42,996	553	8,198	418,780

(注)

1. 発行済株式数に関する事項

株式の種類	平成19年 9月30日残高	四半期中 の増加	四半期中 の減少	平成19年 12月31日残高
普通株式	435,017,020	—	—	435,017,020

単位:株

2. 自己株式数に関する事項

株式の種類	平成19年 9月30日残高	四半期中 の増加	四半期中 の減少	平成19年 12月31日残高
普通株式	2,208,619	960	39,372	2,170,207

単位:株

増加・減少の内訳(理由)は次のとおりであります。

単元未満株式の買取による増加	960株
単元未満株式の買増請求による減少	172株
ストックオプション行使による減少	39,200株

(4) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位: 百万円未満切捨)

項目	期別	当第4四半期	前第4四半期	増減	当第3四半期
		自平成20年1月1日 至平成20年3月31日	自平成19年1月1日 至平成19年3月31日		自平成19年10月1日 至平成19年12月31日
		金額	金額	金額	金額
I 営業活動によるキャッシュ・フロー					
税金等調整前四半期純利益		18,882	24,872	△ 5,990	26,402
減価償却		11,255	10,744	511	14,497
減損損失		247	1	246	49
貸倒引当金の増加額又は減少額(△)		269	103	166	76
賞与引当金の増加額又は減少額(△)		3,429	2,105	1,324	△ 2,058
特別修繕引当金の増加額		△ 180	111	△ 291	4
受取利息及び受取配当金		△ 1,229	△ 1,104	△ 125	△ 1,021
支払利息		635	44	591	649
為替差損又は為替差益(△)		△ 3,932	900	△ 4,832	873
持分法による投資利益		△ 1,748	△ 586	△ 1,162	△ 2,182
固定資産売却益		△ 65	△ 5	△ 60	△ 12
固定資産処分損		667	490	177	182
その他の		7,269	△ 2,394	9,663	3,260
売上債権の増加額(△)又は減少額		5,297	△ 701	5,998	1,974
たな卸資産の減少額又は増加額(△)		921	△ 897	1,818	△ 4,366
その他流動資産の減少額又は増加額(△)		1,000	1,399	△ 399	480
仕入債務の増加額又は減少額(△)		△ 4,393	△ 96	△ 4,297	2,612
未払消費税等の減少額(△)		△ 332	△ 453	121	△ 220
その他流動負債の増加額		191	△ 1,882	2,073	△ 1,949
小計		38,183	32,650	5,533	39,251
利息及び配当金の受取額		1,204	910	294	1,002
利息の支払額		△ 1,172	△ 10	△ 1,162	△ 136
法人税等の支払額		△ 3,267	△ 3,790	523	△ 7,522
営業活動によるキャッシュ・フロー		34,948	29,759	5,189	32,595
II 投資活動によるキャッシュ・フロー					
有形固定資産の取得による支出		△ 6,309	△ 11,816	5,507	△ 10,098
有形固定資産の売却による収入		468	16	452	118
投資有価証券の取得による支出		—	△ 203	203	—
投資有価証券の売却による収入		—	—	—	26
貸付による支出		△ 97	△ 500	403	△ 40
貸付金の回収による収入		31	8	23	44
その他投資に関する支出		△ 1,443	△ 897	△ 546	△ 944
その他投資に関する収入		93	104	△ 11	125
投資活動によるキャッシュ・フロー		△ 7,256	△ 13,287	6,031	△ 10,767
III 財務活動によるキャッシュ・フロー					
短期借入金の借入及び返済による収入及び支出(△)(純額)		△ 5,677	△ 5,997	320	1,796
長期借入金の借入及び社債の発行による収入		126	—	126	—
長期借入金の返済による支出		△ 1,833	—	△ 1,833	△ 33
自己株式の取得による支出		—	△ 3	3	△ 21
自己株式の売却による収入		30	635	△ 605	100
親会社による配当金の支払額		△ 17	42	△ 59	△ 12,992
少数株主への配当金の支払額		△ 174	—	△ 174	—
財務活動によるキャッシュ・フロー		△ 7,546	△ 5,323	△ 2,223	△ 11,150
IV 現金及び現金同等物に係る換算差額		△ 17,992	3,725	△ 21,717	2,398
V 現金及び現金同等物の増加額		2,151	14,873	△ 12,722	13,075
VI 現金及び現金同等物期首残高		179,183	105,748	73,435	166,108
VII 現金及び現金同等物期末残高		181,335	120,621	60,714	179,183

(注)

- 連結キャッシュ・フロー計算書の△は、現金及び現金同等物の流出を示しております。
- 現金及び現金同等物の四半期末残高と連結貸借対照表に掲記されている科目の金額は以下のとおりです：

	当第4四半期	前第4四半期	当第3四半期
現金及び預金勘定	181,467	120,621	180,753
預入期間が3ヶ月超の定期預金	△ 131	—	△ 1,569
現金及び現金同等物	181,335	120,621	179,183

(5) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

[有価証券及びデリバティブ取引に係る注記]

(単位：百万円未満切捨)

1. 時価のある有価証券

区分	当第4四半期 (平成20年3月31日現在)			当第3四半期 (平成19年12月31日現在)			前第4四半期 (平成19年3月31日現在)		
	取得原価	連結貸借対 照表計上額	差 額	取得原価	連結貸借対 照表計上額	差 額	取得原価	連結貸借対 照表計上額	差 額
その他有価証券									
①株 式	4,641	3,579	△ 1,061	4,567	4,158	△ 408	1,692	1,541	△ 150
②債 券	—	—	—	—	—	—	—	—	—
③そ の 他	35	35	0	38	35	△ 2	—	—	—
計	4,677	3,616	△ 1,060	4,605	4,194	△ 411	1,692	1,541	△ 150

2. 時価評価されていない主な有価証券(時価のある有価証券のうち満期保有目的の債券を除く)

区分	当第4四半期 (平成20年3月31日現在)		当第3四半期 (平成19年12月31日現在)		前第4四半期 (平成19年3月31日現在)	
	連結貸借対照表	計上額	連結貸借対照表	計上額	連結貸借対照表	計上額
(1)関係会社株式						
①非上場株式		17,279		16,350		11,678
計		17,279		16,350		11,678
(2)その他有価証券						
①非上場株式		1,059		1,147		1,099
②その他		248		251		256
計		1,307		1,398		1,355

3. デリバティブ取引の契約額、時価及び評価損益等(当第4四半期)

(1) 取引の状況に関する事項

取引の内容及び利用目的等

当社グループは、為替相場の変動によるリスクを軽減するため、為替予約取引を行っております。

イ ヘッジ会計の方法

繰延ヘッジ処理を採用しております。また、為替変動リスクのヘッジについて振当処理の要件を満たしている場合には振当処理を採用しております。

ロ ヘッジ手段とヘッジ対象

ヘッジ手段…………… 為替予約

ヘッジ対象…………… 外貨建借入金

(2) 取引の時価等に関する事項

通貨関連

種 類	契約額等	契約額等のうち 1年超	時 価	評価損益
為替予約取引				
売建 米ドル	7,625	—	587	587
ユーロ	10,140	—	111	111
買建 米ドル	100	—	5	5
ユーロ	1,777	—	104	104
オプション				
買建				
コール				
米ドル	321	—	15	15

(注) 1. 時価の算定方法

(1) 為替予約取引：先物為替相場を使用しております。

(2) 通貨オプション取引：取引先金融機関から当該取引について提示された価格等に基づき算定しております。

2. 「外貨建取引等会計処理基準」により、外貨建金銭債権債務に振り当てたデリバティブ取引については、開示の対象から除いております。

金利関連

種 類	契約額等	契約額等のうち 1年超	時 価	評価損益
金利スワップ取引				
受取変動・支払固定	11,010	8,710	△ 82	△ 22

(注) 1. スワップ取引にかかる契約金額は想定元本であり、この金額自体がデリバティブ取引にかかる市場リスク量を示すものではありません。

2. 時価の算定方法は、金利スワップ契約を締結している金融機関から提示された価格に基づき算定しております。

[税効果会計に係る注記]

(単位：百万円未満切捨)

繰延税金資産及び繰延税金負債の発生の主な原因別の内訳

	当第4四半期 平成20年 3月31日現在	当第3四半期 平成19年 12月31日現在	前第4四半期 平成19年 3月31日現在
(1) 流動の部			
繰延税金資産			
たな卸資産評価損否認額	5,120	2,748	78
賞与引当金否認額	2,834	1,630	1,655
たな卸資産未実現利益	2,001	2,078	2,647
未払事業税否認額	1,591	698	922
環境整備費否認額	601	630	—
その他	4,552	1,934	1,763
繰延税金資産 合計	16,702	9,720	7,067
評価性引当額	△ 1,589	△ 149	—
繰延税金資産 合計	15,113	9,571	7,067
繰延税金負債			
持分法適用会社の留保利益	△ 2,600	—	—
その他	△ 1,749	△ 50	—
繰延税金負債 合計	△ 4,349	△ 50	—
繰延税金資産の純額	10,764	9,521	7,067
(2) 固定の部			
繰延税金資産			
繰越欠損金	20,161	3,484	—
資産調整勘定	20,012	—	—
投資有価証券評価損否認額	2,569	1,217	—
減価償却損金算入限度超過額	1,016	1,486	1,576
減損損失否認額	531	536	622
固定資産処分損否認額	518	518	518
貸倒引当金損金算入限度超過額	131	112	110
退職給付引当金否認額	—	3,525	—
時価評価差額	—	382	—
その他	1,782	2,547	600
繰延税金資産 合計	46,723	13,811	3,429
評価性引当額	△ 4,804	△ 4,704	—
繰延税金資産 合計	41,918	9,106	3,429
繰延税金負債			
減価償却費	△ 292	—	—
特別償却準備金	△ 289	△ 218	△ 232
固定資産圧縮積立金	△ 197	△ 345	△ 307
その他有価証券評価差額金	△ 0	△ 589	—
時価評価差額	—	△ 7,632	—
その他	△ 165	△ 453	△ 165
繰延税金負債 合計	△ 944	△ 9,238	△ 705
繰延税金資産の純額	40,973	△ 132	2,723

[固定資産の減損に係る注記]

(単位: 百万円未満切捨)

当社グループは、ビジネス・ユニットを基準として、資産のグループ化を行っており、以下の資産グループについて減損処理をしております。

1. クリスタル部門における東京スタジオ(昭島工場内)

場 所	用 途	種 類
東京都昭島市	クリスタル製造設備等	建物等

クリスタル部門は、市場の低迷により個人需要・法人向けギフトともに落ち込みが大きいため、同部門に係る資産グループの帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少額を次のとおり減損損失として特別損失に計上しました。

	当第4四半期 自平成20年1月1日 至平成20年3月31日	前第4四半期 自平成19年1月1日 至平成19年3月31日	当第3四半期 自平成19年10月1日 至平成19年12月31日
建物等	6	1	49
計	6	1	49

なお、当資産グループの回収可能価額は使用価値により測定しており、将来キャッシュ・フローを5%で割り引いて算定しております。

2. ペンタックス部門における測量機事業用資産

場 所	用 途	種 類
埼玉県小川町	測量機事業用資産	建物及び構築物等

ペンタックス部門は、測量機事業の落ち込みが大きいため、同事業に係る資産グループの帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少額を次のとおり減損損失として特別損失に計上しました。

	当第4四半期 自平成20年1月1日 至平成20年3月31日	前第4四半期 自平成19年1月1日 至平成19年3月31日	当第3四半期 自平成19年10月1日 至平成19年12月31日
建物及び構築物	73	—	—
工具器具備品	64	—	—
その他の資産	11	—	—
計	149	—	—

3. 遊休資産

場 所	用 途	種 類
ミュールハイム(ドイツ)	遊休資産	建物
東京都板橋区	遊休資産	機械装置

上記の遊休資産は、今後の利用計画が無く、時価が帳簿価額に対して著しく下落しているため、同資産の帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少額を次のとおり減損損失として特別損失に計上しました。

	当第4四半期 自平成20年1月1日 至平成20年3月31日	前第4四半期 自平成19年1月1日 至平成19年3月31日	当第3四半期 自平成19年10月1日 至平成19年12月31日
建物及び構築物	61	—	—
機械装置及び運搬具	29	—	—
計	91	—	—

なお、当資産の回収可能価額は正味売却価額により測定しております。

[企業結合等関係] (共通支配下の取引関係)

(取引の概要)

当社は、平成20年3月30日、連結子会社であるペンタックスオプトテック株式会社、ペンタックス東北株式会社、ペンタックス福島株式会社、ペンタックスサービス株式会社及びペンタックスインキュベーション株式会社の5社をペンタックス株式会社に合併いたしました。また、平成20年3月31日、当社は、ペンタックス株式会社を吸収合併いたしました。

(企業結合を行った理由)

当社とペンタックス株式会社は、保有する経営資源を相互補完的に活用することにより、強固な経営基盤を確立するとともに、シナジー効果の創出と、将来に向けた新たな成長の加速を図るために、両者の経営統合を行う旨、合意にいたしました。かかる合意のもと、当社は公開買付けを行い、その結果、ペンタックス株式会社を連結子会社化するにいたしました。

ペンタックスの主要事業を強化するためには、経営の機動力や柔軟性が重要であり、ペンタックスの各事業部が、当社の他事業部と同等の迅速な経営判断と行動を行うことを可能にし、また経営資源の配分を子会社の小さな枠組みではなく、グループ全体の枠組みの中で最適化するには、当初計画していた合併による統合が最適であるとの結論に至りました。ペンタックスが子会社のままではなく、合併し、各事業部がHOYA本体の中に入ることによりフラットな組織となり、機動的で迅速な経営判断や、適正な資源配分による新規分野の更なる成長が可能になると確信しております。

1. ペンタックス株式会社、ペンタックスオプトテック株式会社、ペンタックス東北株式会社、ペンタックス福島株式会社、ペンタックスサービス株式会社及びペンタックスインキュベーション株式会社の連結子会社6社の合併

(1) 結合当事企業の名称及び事業の内容、企業結合日、企業結合の法的形式、結合後企業の名称

① 結合当事企業の名称及び事業の内容

結合企業 事業の内容	ペンタックス株式会社 ライフケア、イメージングシステム、オプティカルコンポーネント各製品の製造及び販売等
被結合企業 事業の内容	ペンタックスオプトテック株式会社 光学部品、精密部品、機械器具の製造・販売
被結合企業 事業の内容	ペンタックス東北株式会社 医用機器の製造
被結合企業 事業の内容	ペンタックス福島株式会社 光学部品の製造
被結合企業 事業の内容	ペンタックスサービス株式会社 光学機器の修理
被結合企業 事業の内容	ペンタックスインキュベーション株式会社 医用機器の研究開発

② 企業結合日 平成20年3月30日

③ 企業結合の法的形式及び結合後企業の名称

ペンタックス株式会社を存続会社とする吸収合併であり、結合後の企業名称はペンタックス株式会社であります。なお、合併による新株式の発行および資本金の増加はありません。

(2) 実施した会計処理の概要

上記合併は、共通支配下の取引に該当するため、内部取引としてすべて消去しております。したがって、当該会計処理が連結財務諸表に与える影響はありません。

2. 当社とペンタックス株式会社の合併

(1) 結合当事企業の名称及び事業の内容、企業結合日、企業結合の法的形式、結合後企業の名称

① 結合当事企業の名称及び事業の内容

結合企業	HOYA株式会社(当社)
事業の内容	エレクトロオプティクス、ビジョンケア、ヘルスケア各製品の製造及び販売等
被結合企業	ペンタックス株式会社
事業の内容	ライフケア、イメージングシステム、オプティカルコンポーネント各製品の製造及び販売等

② 企業結合日 平成20年3月31日

③ 企業結合の法的形式及び結合後企業の名称

当社を存続会社、ペンタックス株式会社を消滅会社とする吸収合併であり、結合後の企業名称はHOYA株式会社であります。なお、合併による新株式の発行および資本金の増加はありません。

(2) 実施した会計処理の概要

「企業結合に係る会計基準」(企業会計審議会平成15年10月31日)及び「企業結合会計基準及び事業分離等会計基準に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第10号平成17年12月27日)に基づき、共通支配下の取引等として処理いたしました。当社が消滅会社より受け入れた資産および負債は、合併期日の前日に付された適正な帳簿価額を基礎とし、当社が作成する連結財務諸表において、消滅会社の純資産等の帳簿価額を修正している場合は、修正後の帳簿価額により計上しました。

(3) 子会社株式の追加取得に関する事項

① 取得原価及びその内訳

株式取得費用	9,756 百万円
株式取得に直接要した支出	－ 百万円
取得原価	9,756 百万円

② 取得の対価として交付した金銭、及びその算定方法

(A) 株式の取得の対価

1株につき770円を交付

(B) 1株あたりの交付金額の算定方法:

第三者機関の算定結果を踏まえて、総合的に算出いたしました。

(C) 取得株式数及びその評価金額

普通株式	12,671,186 株
評価額	9,756 百万円

③ 発生したのれん又は負ののれんの金額、発生原因、償却の方法及び償却期間

(A) のれん

4,506 百万円

(B) 発生原因

追加取得したペンタックス株式の取得原価が、追加取得により減少する少数株主持分の金額を上回ったことによるものです。

(C) 償却方法及び償却期間

10年間で均等償却

本件につきましては、別途東京証券取引所に「合併契約締結に関するお知らせ」を提出しております。また、当社ホームページにも掲載しておりますのでご参照下さい。

東京証券取引所ホームページ(上場会社情報検索ページ) :

<http://www.tse.or.jp/listing/compsearch/index.html>

当社ホームページ :

http://www.hoya.co.jp/HOYA_DYNAMIC/index.cfm?fuseaction=investor.news

[1株当たり情報]

科 目	当第4四半期	前第4四半期	当第3四半期
	自平成20年1月1日 至平成20年3月31日	自平成19年1月1日 至平成19年3月31日	自平成19年10月1日 至平成19年12月31日
1株当たり純資産額	903.49円	845.98円	947.28円
1株当たり四半期純利益金額	48.53円	44.11円	52.22円
潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益金額	48.52円	43.97円	52.18円

(注)

1株当たり純資産額、1株当たり四半期純利益金額及び潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

科 目	当第4四半期	前第4四半期	当第3四半期
	自平成20年1月1日 至平成20年3月31日	自平成19年1月1日 至平成19年3月31日	自平成19年10月1日 至平成19年12月31日
1株当たり純資産額			
連結貸借対照表上の純資産額(百万円)	394,625	367,145	418,780
普通株主に帰属しない金額(百万円)	3,541	2,044	8,751
(うち少数株主持分)	2,909	1,876	8,198
(うち自己株式申込証拠金)	—	1	—
(うち新株予約権)	632	167	553
普通株式に係る純資産額(百万円)	391,083	365,100	410,028
自己株式を除いた期末発行済株式数(株)	432,858,729	431,569,339	432,846,813
1株当たり四半期純利益金額			
四半期純利益(百万円)	21,004	19,028	22,603
普通株主に帰属しない金額(百万円)	—	—	—
普通株式に係る四半期純利益(百万円)	21,004	19,028	22,603
期中平均株式数(株)	432,857,592	431,413,106	432,830,367
潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額			
四半期純利益(百万円)	21,004	19,028	22,603
普通株主に帰属しない金額(百万円)	—	—	—
普通株式に係る四半期純利益(百万円)	21,004	19,028	22,603
普通株式増加数(株)	71,604	1,313,160	334,997
(うち新株予約権)(株)	(71,604)	(1,313,160)	(334,997)
潜在株式調整後期中平均株式数(株)	432,929,196	432,726,266	433,165,364

[重要な後発事象] 「NHテクノグラス社の持分一部譲渡について」

当社は、当社の持分法適用関連会社であるNHテクノグラス株式会社の当社保有分株式の一部を、カーライル・グループに売却することとし、平成20年5月9日付で株式譲渡契約を締結いたしました。

1. 売却株式数、売却価額および売却前後の所有株式数の状況

- | | | |
|---------------|---------------------|----------------|
| (1) 異動前の所有株式数 | 30,000株(所有割合:50%) | (議決権数:30,000個) |
| (2) 譲渡株式数 | 12,921株(売却価額:174億円) | |
| (3) 異動後の所有株式数 | 17,079株(所有割合:28.5%) | (議決権数:17,079個) |

当社は、当社の持分であるNHテクノグラス(株)の株式50%のうち、21.5%をカーライルに譲渡しますが、NHテクノグラス(株)の資本構成変更・組織再編等を経たのち、最終的には同社の株式47.4%を保有する形になり、引き続き主要株主としてカーライルと協働していくこととなります。

2. 平成21年3月期連結業績への影響

売却に伴い平成21年3月期第1四半期決算にて、特別利益として約104億円を計上する見通しです。

なお、上記株式売却の発効(株券引渡し)には、所定のクロージング条件が満足されることが条件となっており、株式譲渡契約締結後、4-5週間を経てクロージングが実行されるものと想定しております。

本件につきましては、別途東京証券取引所に「特別利益の計上 - NHテクノグラス社の持分一部譲渡について」を提出しております。また、当社ホームページにも掲載しておりますのでご参照下さい。

東京証券取引所ホームページ(上場会社情報検索ページ) :

<http://www.tse.or.jp/listing/compsearch/index.html>

当社ホームページ : http://www.hoya.co.jp/HOYA_DYNAMIC/index.cfm?fuseaction=investor.news

(6) セグメント情報

1. 事業の種類別セグメント情報

(単位:百万円未満切捨)

科目	セグメント	当第4四半期								
		自 平成20年1月1日 至 平成20年3月31日								
		情報・通信		アイケア		ペンタックス	その他	計	消去又は 全社	連結
エレクトロ オプティクス	ホニクス	ビジョンケア	ヘルスケア							
1. 売上高及び営業損益										
(1) 外部顧客に対する売上高		49,995	2,149	30,952	11,544	40,923	250	135,816	—	135,816
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高		101	75	△ 2	—	2	719	896	(896)	—
計		50,097	2,225	30,950	11,544	40,926	969	136,713	(896)	135,816
営業費用		36,375	2,047	26,638	9,386	42,556	1,031	118,035	(277)	117,757
営業利益又は営業損失(△)		13,722	177	4,312	2,157	△ 1,630	△ 61	18,678	(619)	18,059
営業利益率		27.4%	8.0%	13.9%	18.7%	-4.0%	-6.3%	13.7%	—	13.3%
2. 資産、減価償却費及び資本的支出等										
資産		210,007	8,036	112,379	24,415	204,853	2,817	562,510	126,933	689,443
減価償却費		5,806	40	1,531	335	3,507	12	11,234	21	11,255
減損損失		—	—	61	0	179	6	247	—	247
資本的支出		2,828	45	1,811	214	2,041	8	6,949	0	6,950
研究開発費		2,611	271	335	465	1,899	2	5,585	—	5,585
従業員数(名)		20,682	185	7,547	970	5,885	215	35,484	61	35,545

科目	セグメント	前第4四半期								
		自 平成19年1月1日 至 平成19年3月31日								
		情報・通信		アイケア		ペンタックス	その他	計	消去又は 全社	連結
エレクトロ オプティクス	ホニクス	ビジョンケア	ヘルスケア							
1. 売上高及び営業損益										
(1) 外部顧客に対する売上高		53,410	2,221	33,091	10,498	—	246	99,467	—	99,467
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高		103	58	2	0	—	698	862	(862)	—
計		53,512	2,280	33,094	10,498	—	945	100,329	(862)	99,467
営業費用		36,079	2,230	27,351	7,913	—	989	74,563	273	74,837
営業利益又は営業損失(△)		17,434	49	5,743	2,585	—	△ 45	25,766	(1,135)	24,631
営業利益率		32.6%	2.1%	17.4%	24.6%	—	-4.8%	25.7%	—	24.8%
2. 資産、減価償却費及び資本的支出等										
資産		258,746	7,760	118,228	24,410	—	2,518	411,664	35,979	447,644
減価償却費		7,992	35	2,313	343	—	11	10,696	48	10,744
減損損失		—	—	—	—	—	1	1	—	1
資本的支出		11,595	35	2,423	477	—	0	14,533	14	14,547
研究開発費		2,844	334	506	411	—	37	4,133	—	4,133
従業員数(名)		19,570	199	7,506	910	—	198	28,383	67	28,450

<参考> 前年同期との増減比較は、次のとおりです:

科目	セグメント	増 減								
		情報・通信		アイケア		ペンタックス	その他	計	消去又は 全社	連結
		エレクトロ オプティクス	ホニクス	ビジョンケア	ヘルスケア					
売上高 増減額										
(1) 外部顧客に対する売上高増減額		△ 3,415	△ 72	△ 2,139	1,046	40,923	4	36,349	—	36,349
外部売上高の増減率		-6.4%	-3.2%	-6.5%	10.0%	—	1.6%	36.5%	—	36.5%
(2) セグメント間売上高又は振替高増減額		△ 2	17	△ 4	△ 0	2	21	34	△ 34	—
計		△ 3,415	△ 55	△ 2,144	1,046	40,926	24	36,384	△ 34	36,349
営業費用増減額		296	△ 183	△ 713	1,473	42,556	42	43,472	△ 550	42,920
営業損益額増減額		△ 3,712	128	△ 1,431	△ 428	△ 1,630	△ 16	△ 7,088	516	△ 6,572
営業利益の増減率		-21.3%	261.2%	-24.9%	-16.6%	—	35.6%	-27.5%	—	-26.7%
営業利益率の増減(ポイント)		△ 5.2	5.8	△ 3.4	△ 5.9	—	△ 1.5	△ 12.0	—	—
資産 増減額		△ 48,739	276	△ 5,849	5	204,853	299	150,846	90,954	241,799
減価償却費 増減額		△ 2,186	5	△ 782	△ 8	3,507	1	538	△ 27	511
減損損失 増減額		—	—	61	—	179	5	246	—	246
資本的支出 増減額		△ 8,767	10	△ 612	△ 263	2,041	8	△ 7,584	△ 14	△ 7,597
研究開発費 増減額		△ 232	△ 63	△ 170	54	1,899	△ 34	1,452	—	1,452
従業員数(名) 増減数		1,112	△ 14	41	60	5,885	17	7,101	△ 6	7,095

(注)

1. 事業区分の方法及び各区分に属する主要製品及び役務の名称

- (1) 当第2四半期より、ペンタックス株式会社を連結の範囲に含めておりますので、事業区分並びに主要製品及び役務につき下記のように変更いたしました。ペンタックス株式会社及びその子会社は、主として3つの事業を展開しておりますが、セグメント情報は、分野・事業区分とも「ペンタックス」として記載しております。

事業の種類別セグメント情報につきましては、資産および従業員数のみ当第2四半期より連結しており、損益関係は当第3四半期より連結しております。

分野	事業	主要製品及び役務	
情報・通信	エレクトロ	半導体用フォトマスク・マスクブランクス、液晶用マスク・液晶部品、	
	オプティクス	HDD用ガラスディスク、光学レンズ・光学ガラス、電子用ガラス、光通信関連デバイス	
	ホトニクス	各種レーザー機器、電子産業用光源、特殊光学ガラス	
アイケア	ビジョンケア	メガネ用レンズ・フレーム	
	ヘルスケア	コンタクトレンズ、眼内レンズ	
ペンタックス	ライブカメラ	内視鏡、マイカルカメラ、骨補填材、充填剤	
	イメージングシステム	デジタルカメラ、交換レンズ、カメラアクセサリ、監視カメラ用レンズ	
	オプティカルコンポーネント	デジタルカメラモジュール、微小レンズ	
その他	ガラス製品、情報システム構築、業務請負		

- (2) 当第1四半期までの事業区分並びに主要製品及び役務は次のとおりであります。

分野	事業	主要製品及び役務	
情報・通信	エレクトロ	半導体用フォトマスク・マスクブランクス、液晶用マスク・液晶部品、	
	オプティクス	HDD用ガラスディスク、光学レンズ・光学ガラス、電子用ガラス、光通信関連デバイス	
	ホトニクス	各種レーザー機器、電子産業用光源、特殊光学ガラス	
アイケア	ビジョンケア	メガネ用レンズ・フレーム	
	ヘルスケア	コンタクトレンズ、眼内レンズ	
その他	ガラス製品、情報システム構築、業務請負		

※ 当社の事業区分の方法は、製品の種類・性質等の類似性を考慮して区分しております。

2. 営業費用のうち消去又は全社の項目に含めた配賦不能営業費用の金額は、

当第4四半期 3,276 百万円

前第4四半期 909 百万円

であり、その主なものは、本社部門並びに海外の地域本社に係る費用であります。

3. 資産のうち消去又は全社の項目に含めた全社資産の金額は、

当第4四半期 153,256 百万円

前第4四半期 61,381 百万円

であり、その主なものは、余資運用資金（現金及び預金）、長期投資資金（投資有価証券）及び本社部門並びに海外の地域本社に係る資産等であります。

2. 所在地別セグメント情報

(単位：百万円未満切捨)

期別 科目	セグメント	当第4四半期 自平成20年1月1日至平成20年3月31日						連結
		日本	北米	欧州	アジア	計	消去又は 全社	
1. 売上高及び営業損益								
売上高								
(1)外部顧客に対する売上高		79,280	16,919	28,585	11,032	135,816	—	135,816
(2)セグメント間の内部売上高又は振替高		18,088	131	248	37,164	55,633	(55,633)	—
計		97,369	17,050	28,834	48,196	191,450	(55,633)	135,816
営業費用		92,364	16,928	27,315	40,302	176,911	(59,154)	117,757
営業利益		5,004	121	1,518	7,894	14,538	3,520	18,059
営業利益率		5.1%	0.7%	5.3%	16.4%	7.6%	—	13.3%
2. 資産		333,039	37,722	66,642	228,174	665,578	23,865	689,443

期別 科目	セグメント	前第4四半期 自平成19年1月1日至平成19年3月31日						連結
		日本	北米	欧州	アジア	計	消去又は 全社	
1. 売上高及び営業損益								
売上高								
(1)外部顧客に対する売上高		66,868	10,062	15,199	7,337	99,467	—	99,467
(2)セグメント間の内部売上高又は振替高		6,449	85	138	39,332	46,005	(46,005)	—
計		73,317	10,147	15,338	46,670	145,471	(46,005)	99,467
営業費用		63,082	10,171	12,762	35,136	121,150	(46,314)	74,837
営業利益又は営業損失(△)		10,236	△24	2,576	11,533	24,320	310	24,631
営業利益率		14.0%	-0.2%	16.8%	24.7%	16.7%	—	24.8%
2. 資産		193,390	13,507	107,564	207,158	521,619	(73,975)	447,644

<参考> 前期との増減比較は、次のとおりです：

期別 科目	セグメント	増減						連結
		日本	北米	欧州	アジア	計	消去又は 全社	
売上高								
増減額								
(1)外部顧客に対する売上高増減額		12,412	6,857	13,386	3,695	36,349	—	36,349
外部売上高増減率		18.6%	68.1%	88.1%	50.4%	36.5%	—	36.5%
(2)セグメント間売上高又は振替高増減額		11,639	46	110	△2,168	9,628	△9,628	—
計		24,052	6,903	13,496	1,526	45,979	△9,628	36,349
営業費用増減額		29,282	6,757	14,553	5,166	55,761	△12,840	42,920
営業利益額増減額		△5,232	145	△1,058	△3,639	△9,782	3,210	△6,572
営業利益額増減率		-51.1%	-604.2%	-41.1%	-31.6%	-40.2%	—	-26.7%
資産								
増減額		139,649	24,215	△40,922	21,016	143,959	97,840	241,799

(注)1. 当第2四半期より、ペンタックス株式会社を連結の範囲に含めておりますが、所在地別セグメント情報につきましては当第2四半期より資産のみ連結しており、損益関係は当第3四半期より連結しております。

2. 国又は地域の区分の方法及び各区分に属する主な国又は地域

(1) 国又は地域の区分の方法……… 地理的近接度によっており、当社グループ事業所の所在地別の区分であります。

(2) 各区分に属する主な国・地域… 北米：米国、カナダ等

欧州：オランダ、ドイツ、イギリス等（南アフリカを含む）

アジア：シンガポール、タイ、中国、韓国、台湾、オーストラリア等

3. 営業費用のうち消去又は全社の項目に含めた配賦不能営業費用の金額は、

当第4四半期 1,223 百万円、 前第4四半期 814 百万円、

であり、その主なものは、本社部門に係る費用であります。

4. 資産のうち消去又は全社の項目に含めた全社資産の金額は、

当第4四半期 115,499 百万円、 前第4四半期 59,046 百万円、

であり、その主なものは、余資運用資金（現金及び預金）、長期投資資金（投資有価証券）及び本社部門に係る資産等であります。

3. 海外売上高

(単位：百万円未満切捨)

期別 科目	当第4四半期 自 平成20年1月1日 至 平成20年3月31日				
	セグメント 北米	欧州	アジア	その他の地域	合計
海外売上高	18,288	29,270	37,270	367	85,193
連結売上高					135,816
連結売上高に占める 海外売上高の割合(%)	13.5%	21.6%	27.4%	0.3%	62.8%
海外売上高における 地域別の割合(%)	21.5%	34.4%	43.7%	0.4%	100.0%

期別 科目	前第4四半期 自 平成19年1月1日 至 平成19年3月31日				
	セグメント 北米	欧州	アジア	その他の地域	合計
海外売上高	11,452	15,758	27,057	1	54,268
連結売上高					99,467
連結売上高に占める 海外売上高の割合(%)	11.5%	15.9%	27.2%	0.0%	54.6%
海外売上高における 地域別の割合(%)	21.1%	29.0%	49.9%	0.0%	100.0%

<参考> 前年同期との増減比較は、次のとおりです：

期別 科目	増 減				
	セグメント 北米	欧州	アジア	その他の地域	合計
海外売上高増減額	6,836	13,512	10,213	366	30,925
連結売上高増減額					36,349
海外売上高増減率(%)	59.7%	85.7%	37.7%	36600.0%	57.0%

(注) 1. 海外売上高は、当社および連結子会社の本邦以外の国又は地域における売上高であります。

2. 国又は地域の区分の方法及び各区分に属する主な国又は地域

(1) 国又は地域の区分の方法・・・・・・・・地理的近接度によっており、顧客の所在地別の区分であります。

(2) 各区分に属する主な国又は地域・・・・北米：米国、カナダ等

欧州：オランダ、ドイツ、イギリス等
(南アフリカを含む)アジア：シンガポール、タイ、中国、韓国、台湾、
オーストラリア等

その他の地域：サウジアラビア、ブラジル等

(7) 販売の状況(四半期連結部門別売上高明細表)

(単位:百万円)

分野・事業別	期別	当第4四半期		前第4四半期		増減		当第3四半期	
		自平成20年1月1日 至平成20年3月31日		自平成19年1月1日 至平成19年3月31日				自平成19年10月1日 至平成19年12月31日	
		金額	構成比%	金額	構成比%	金額	増減率%	金額	構成比%
	国内	20,709	41.4	24,805	46.4	△4,096	△16.5	21,998	41.4
	海外	29,286	58.6	28,604	53.6	682	2.4	31,153	58.6
	エレクトロ-optics	49,995	36.8	53,410	53.7	△3,415	△6.4	53,151	36.1
	国内	992	46.2	1,333	60.0	△341	△25.6	1,195	48.6
	海外	1,157	53.8	888	40.0	269	30.3	1,264	51.4
	ホトニクス	2,149	1.6	2,221	2.2	△72	△3.2	2,459	1.7
	国内	21,701	41.6	26,139	47.0	△4,438	△17.0	23,193	41.7
	海外	30,444	58.4	29,492	53.0	952	3.2	32,417	58.3
	情報・通信	52,145	38.4	55,631	55.9	△3,486	△6.3	55,610	37.8
	国内	7,699	24.9	8,807	26.6	△1,108	△12.6	8,288	26.3
	海外	23,253	75.1	24,284	73.4	△1,031	△4.2	23,273	73.7
	ビジョンケア	30,952	22.8	33,091	33.3	△2,139	△6.5	31,561	21.5
	国内	11,098	96.1	10,010	95.4	1,088	10.9	11,024	95.9
	海外	446	3.9	487	4.6	△41	△8.4	477	4.1
	ヘルスケア	11,544	8.5	10,498	10.6	1,046	10.0	11,501	7.8
	国内	18,797	44.2	18,818	43.2	△21	△0.1	19,312	44.8
	海外	23,699	55.8	24,772	56.8	△1,073	△4.3	23,750	55.2
	アイケア	42,497	31.3	43,590	43.9	△1,093	△2.5	43,062	29.3
	国内	9,874	24.1	—	—	9,874	—	6,569	13.7
	海外	31,049	75.9	—	—	31,049	—	41,538	86.3
	ペンタックス	40,923	30.1	—	—	40,923	—	48,107	32.7
	国内	250	100.0	242	98.4	8	3.3	276	100.0
	海外	0	0.0	4	1.6	△4	—	0	0.0
	その他	250	0.2	246	0.2	4	1.6	276	0.2
	国内	50,623	37.3	45,199	45.4	5,424	12.0	49,350	33.6
	海外	85,193	62.7	54,268	54.6	30,925	57.0	97,705	66.4
	合計	135,816	100.0	99,467	100.0	36,349	36.5	147,055	100.0

(注)

当第2四半期より、ペンタックス株式会社を連結の範囲に含めておりますので、事業区分につき上記のように変更いたしました。同社の損益計算書は当第3四半期から連結しております。